

平成 27 年度 都市計画マスタープラン改定専門部会 第 4 回資料  
(現況と課題の整理補足)

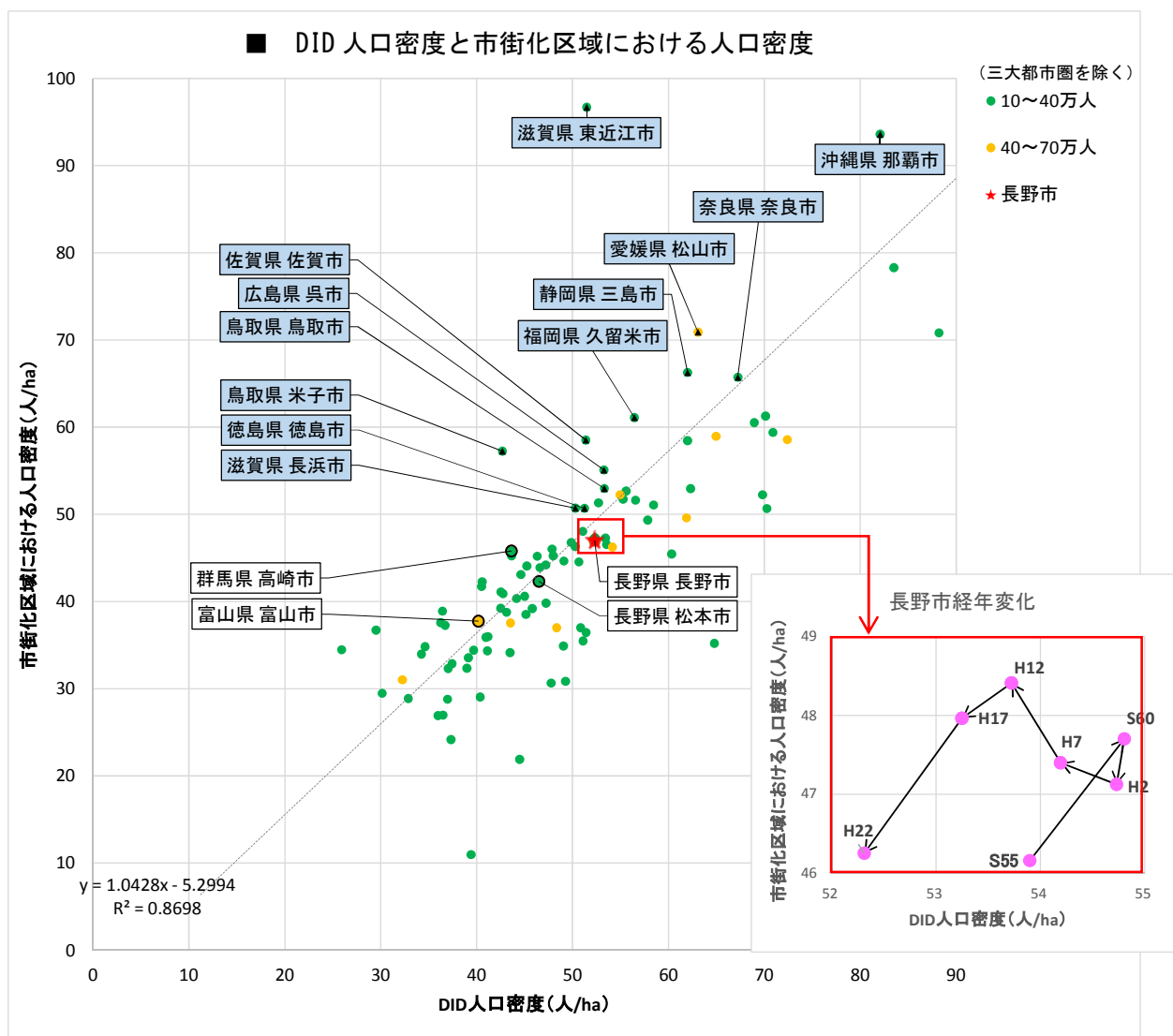
1. 都市構造等の評価

指標別の評価都市比較

①市街化区域における人口密度と DID 人口密度の関係 (散布図：三大都市圏を除く人口 10 万人以上の地方都市)

都市的な集積を示す DID (人口集中地区) の密度と、居住を誘導する区域のベースとなる市街化区域の人口密度について、各都市の数値を図化したのが下図である。

市街化区域の人口密度が DID 人口密度を上回る自治体を青塗りの囲みで示す。また、長野市の経年変化を右下図にて示す。



各地域面積 <長野市 (市街化区域 : 59.4、DID : 48.4) > 単位 k m<sup>2</sup>

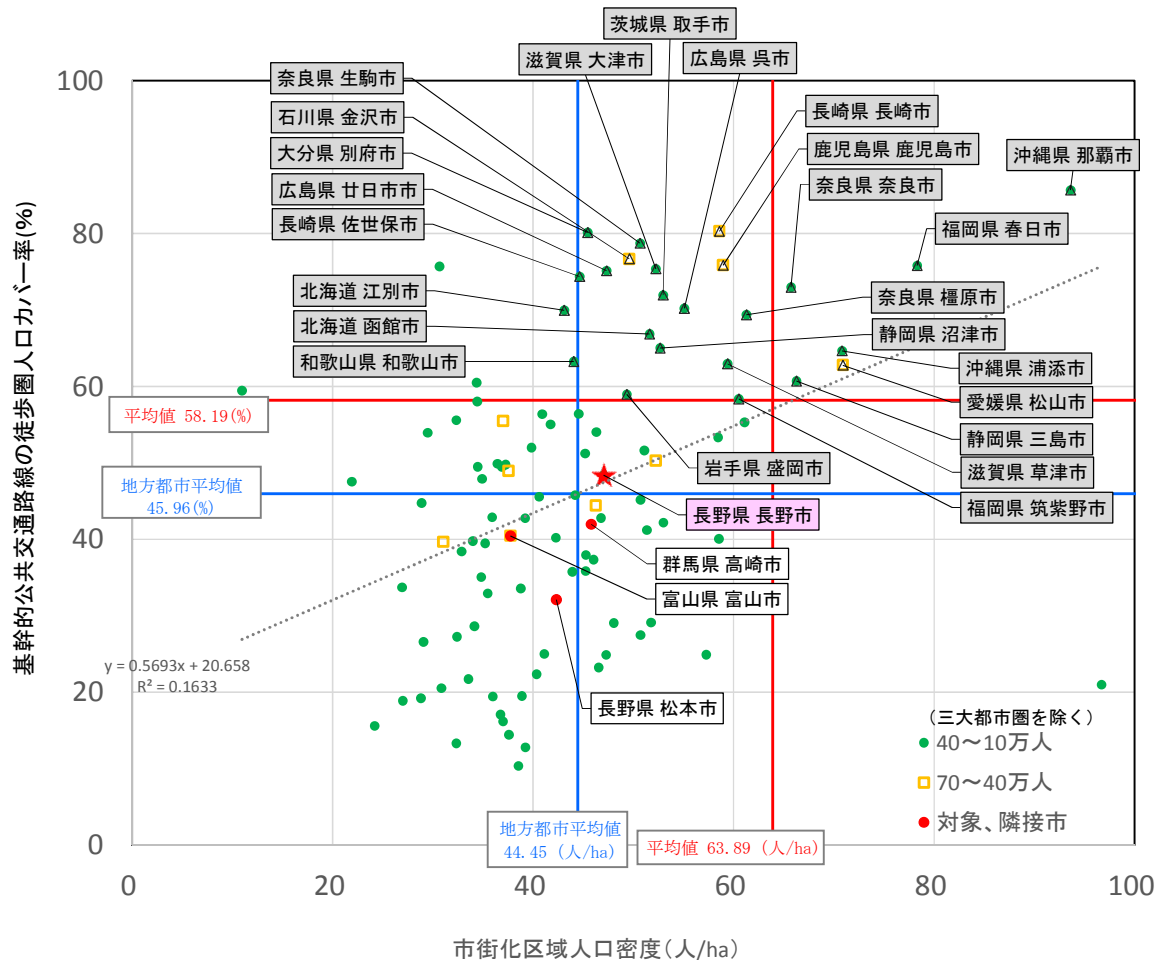
自治体名	市街化区域	DID	自治体名	市街化区域	DID	自治体名	市街化区域	DID
東近江市	14.64	6.15	奈良市	48.02	45.96	呉市	35.75	30.73
那覇市	32.39	38.38	久留米市	36.35	32.52	鳥取市	31.26	18.66
松山市	70.29	67.89	佐賀市	29.5	27.03	徳島市	39.05	36.43
三島市	13.46	14.01	米子市	24.41	17.13	長浜市	14.44	6.47

出典：国土交通省「都市構造の評価に関するハンドブック」、長野市資料より作成

②市街化区域人口密度と徒歩圏人口カバー率（散布図：三大都市圏を除く人口10万人以上の地方都市）

市街化区域人口密度と基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率を比較すると、長野市は他の都市と比べ、市街化区域人口密度及び基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率について全国平均（人口10万人以上都市の平均）を下回っているが、三大都市圏及び政令指定都市を除いた場合の平均値は上回る。

長野市と同程度の市街化区域人口密度で基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率が全国平均値以上の都市について、市町村名を示す。



基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率上位自治体リスト

<長野市（市街化区域人口密度：47.0人/ha、基幹的公共交通徒歩圏人口カバー率：48.4%）>

順位	自治体名	人口密度(人/ha)	人口カバー率(%)	順位	自治体名	人口密度	人口カバー率(%)
1	沖縄県 那覇市	93.6	85.7	13	広島県 呉市	55.1	70.2
2	長崎県 長崎市	58.6	80.3	14	北海道 江別市	43.1	70.0
3	大分県 別府市	45.5	80.1	15	奈良県 橿原市	61.3	69.4
4	奈良県 生駒市	50.7	78.7	16	北海道 函館市	51.6	66.8
5	石川県 金沢市	49.6	76.7	17	静岡県 沼津市	52.7	65.0
6	鹿児島県 鹿児島市	58.9	75.8	18	沖縄県 浦添市	70.8	64.7
7	福岡県 春日市	78.3	75.8	19	和歌山県 和歌山市	44.1	63.3
8	滋賀県 大津市	52.2	75.4	20	滋賀県 草津市	59.4	63.0
9	広島県 廿日市市	47.3	75.1	21	愛媛県 松山市	70.9	62.8
10	長崎県 佐世保市	44.6	74.4	22	静岡県 三島市	66.3	60.7
11	奈良県 奈良市	65.7	73.0	23	岩手県 盛岡市	49.4	59.0
12	茨城県 取手市	53.0	71.9	24	福岡県 筑紫野市	60.5	58.4

出典：国土交通省「都市構造の評価に関するハンドブック」より作成

## 2. 都市構造の検討

### 拠点性の確認（商業集積の状況）

各駅又は支所を中心とした徒歩圏（600m\*<sub>1</sub>又は800m\*<sub>2</sub>圏域）について商業集積の状況を確認すると、現行のマスタープランで定められた広域拠点と地域拠点に関してはある程度の商業集積がみられるが、中山間地域の生活拠点では800m圏域内であっても店舗の立地がみられない拠点も多く存在する。

\*<sub>1</sub>：長野市「公共交通ビジョン（平成27年6月）」では、鉄道の公共交通カバー圏域を駅より半径600mと設定している。（歩行速度約60m/分、歩行時間10分圏・・・高齢者や児童を想定していると推測される）

\*<sub>2</sub>：国土交通省「都市構造の評価に関するハンドブック」では、一般的な徒歩圏として半径800mを採用している。（歩行速度約80m/分、歩行時間10分圏）

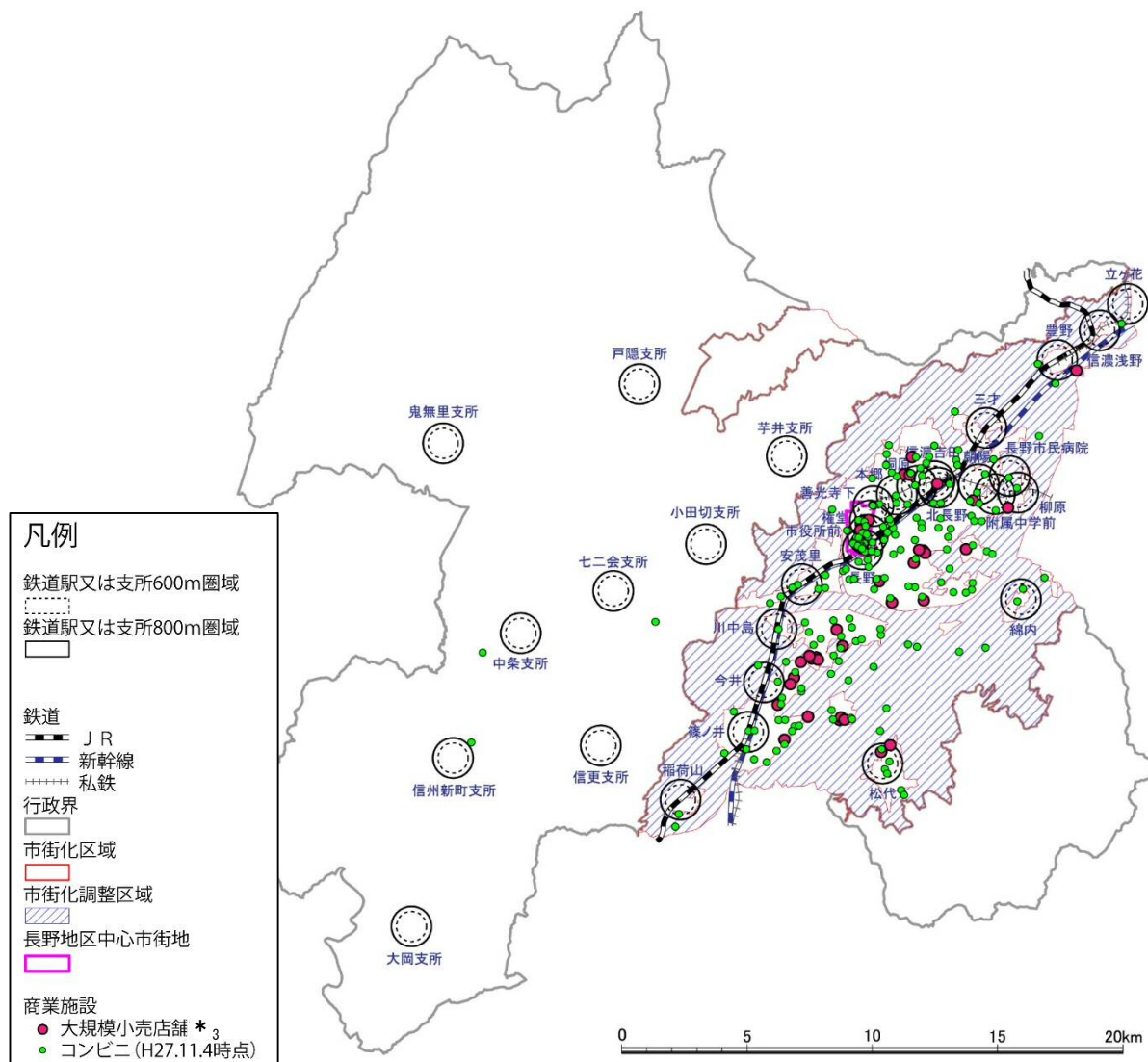


図 拠点圏域と商業施設立地状況

出典：コンビニまっぷ（平成27年11月4日閲覧時点）、長野市都市計画基礎調査より作成

\*<sub>3</sub>：長野市都市計画基礎調査の調査対象となっている、店舗面積3000㎡以上の百貨店、スーパー、専門店等

①拠点圏域別商業施設立地状況

番号	名称	圏域内に1店舗以上含む		中心市街地内				600m圏内				800m圏内			
		中心種類	拠点種別	コンビニ数	占有率	大規模小売店舗数	占有率	コンビニ数	占有率	大規模小売店舗数	占有率	コンビニ数	占有率	大規模小売店舗数	占有率
	長野地区	長野地区 中心市街地	広域拠点	26	14.0%	7	17.9%								
1	長野	駅	長野広域拠点近傍					18	9.7%	5	12.8%	23	12.4%	6	15.4%
2	市役所前	駅	長野広域拠点近傍					19	10.2%	7	17.9%	27	14.5%	7	17.9%
3	権堂	駅	長野広域拠点近傍					11	5.9%	2	5.1%	15	8.1%	2	5.1%
4	善光寺下	駅	長野広域拠点近傍					4	2.2%	1	2.6%	7	3.8%	1	2.6%
5	北長野	駅	地域拠点					1	0.5%	1	2.6%	3	1.6%	1	2.6%
6	信濃吉田	駅	北長野地域拠点近傍					2	1.1%	1	2.6%	5	2.7%	1	2.6%
7	桐原	駅	北長野地域拠点近傍					3	1.6%	1	2.6%	4	2.2%	2	5.1%
8	本郷	駅	北長野地域拠点近傍					3	1.6%		0.0%	5	2.7%		0.0%
9	篠ノ井	駅	地域拠点					2	1.1%		0.0%	3	1.6%		0.0%
10	松代	旧駅	地域拠点					4	2.2%	1	2.6%	4	2.2%	2	5.1%
11	綿内	旧駅	生活拠点					2	1.1%		0.0%	2	1.1%		0.0%
12	安茂里	駅	生活拠点					2	1.1%		0.0%	3	1.6%		0.0%
13	川中島	駅	生活拠点					1	0.5%		0.0%	1	0.5%		0.0%
14	今井	駅	生活拠点					1	0.5%		0.0%	2	1.1%		0.0%
15	三才	駅	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
16	豊野	駅	生活拠点						0.0%		0.0%	3	1.6%		0.0%
17	長野市民病院	病院	生活拠点					2	1.1%		0.0%		0.0%		0.0%
18	柳原	駅	拠点以外の駅					1	0.5%		0.0%	4	2.2%	1	2.6%
19	附属中学前	駅	拠点以外の駅						0.0%		0.0%	1	0.5%	1	2.6%
20	朝陽	駅	拠点以外の駅					2	1.1%		0.0%	4	2.2%	1	2.6%
21	立ヶ花	駅	拠点以外の駅						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
22	信濃浅野	駅	拠点以外の駅						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
23	稲荷山	駅	拠点以外の駅					1	0.5%		0.0%	1	0.5%		0.0%
24	戸隠支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
25	芋井支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
26	小田切支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
27	七二会支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
28	信更支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
29	大岡支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
30	鬼無里支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
31	信州新町支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
32	中条支所	支所	生活拠点						0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
拠点圏域内				26	14.0%	7	17.9%	55	29.6%	10	25.6%	73	39.2%	17	43.6%
拠点圏域外				160	86.0%	32	82.1%	131	70.4%	29	74.4%	113	60.8%	22	56.4%
市内				186	100.0%	39	100.0%	186	100.0%	39	100.0%	186	100.0%	39	100.0%

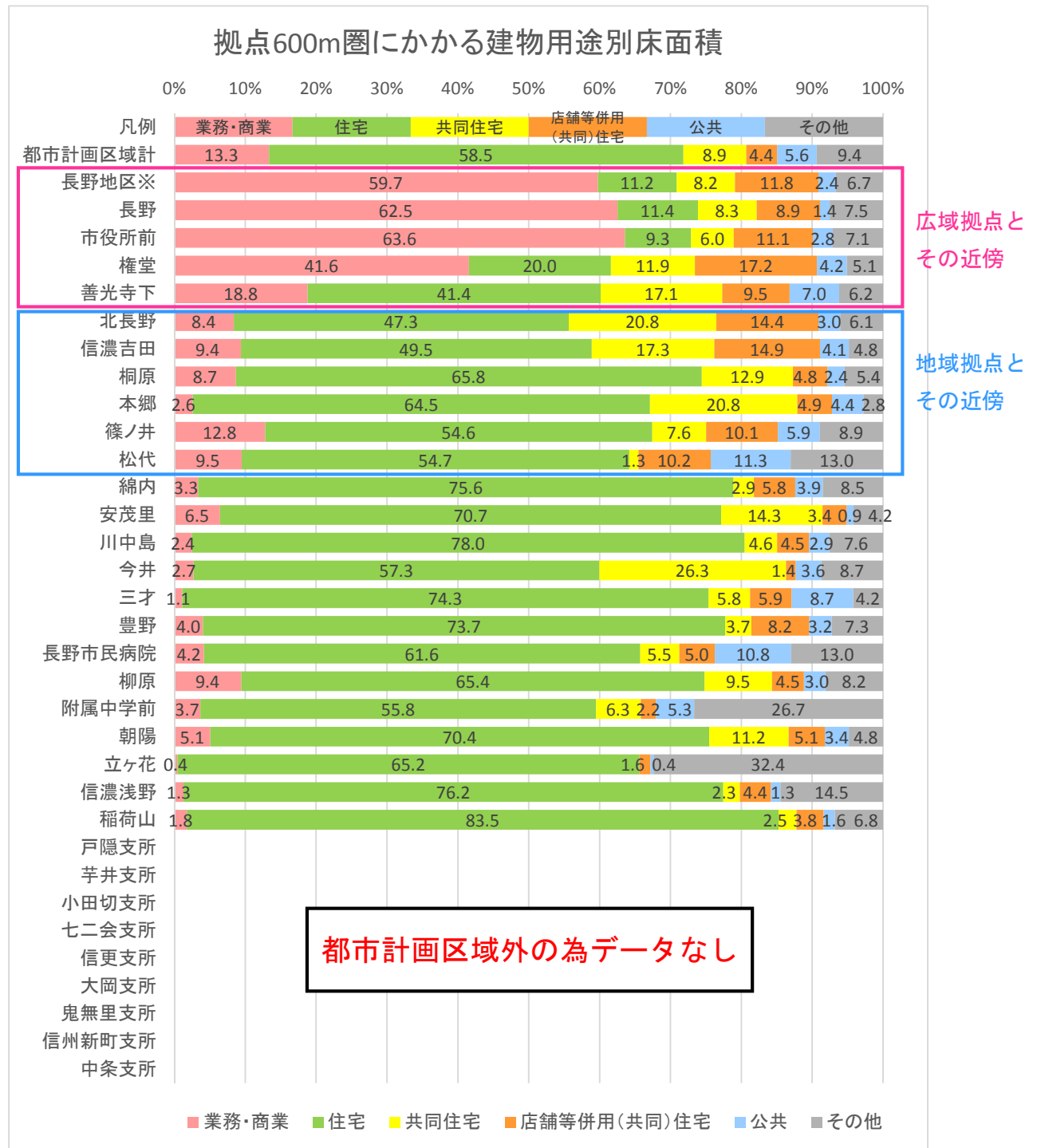
※コンビニには駅構内のキオスク等を含む

出典：コンビニまっぷ（平成27年11月4日閲覧時点）、長野市都市計画基礎調査より作成

## ②拠点圏域別用途別床面積

現行のマスタープランで定められた都市拠点と拠点近傍駅徒歩圏内の用途別床面積の集計結果を示す。都市計画区域全域と比較して、広域拠点以外の拠点については住宅床面積割合（独立住宅+共同住宅）が多く、都市機能のさらなる集約化が望ましいと考えられる。

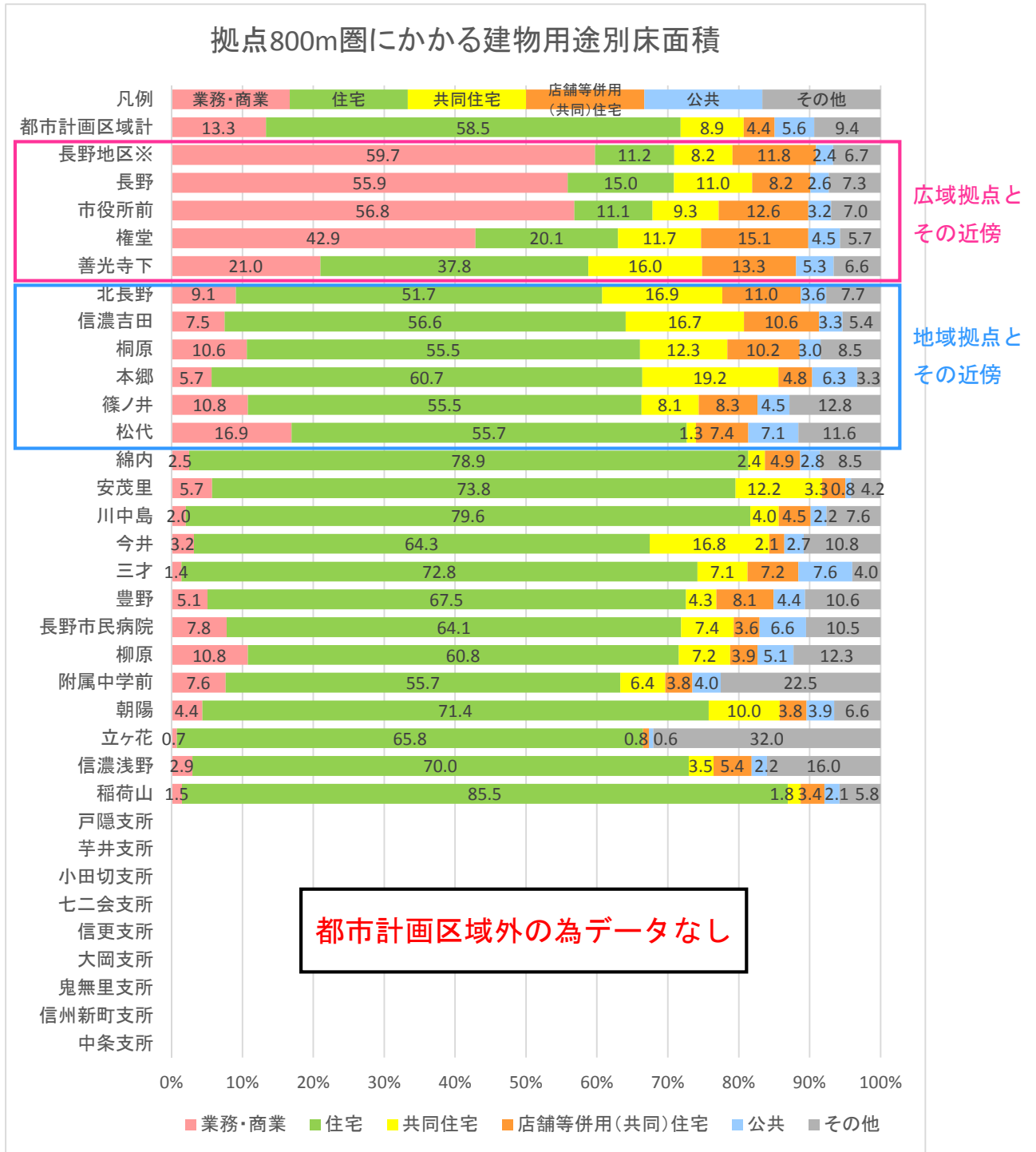
### 1)各駅又は支所等より600m圏の用途別床面積割合



※長野地区中心市街地にかかる建物、その他は駅又は支所から600m圏にかかる建物の床面積を集計

出典：長野市都市計画基礎調査より作成

2) 各駅又は支所等より 800m圏の用途別床面積割合



※長野地区中心市街地にかかる建物、その他は駅又は支所から 800m圏にかかる建物の床面積を集計

出典：長野市都市計画基礎調査より作成